

# シリーズ

## 阿久比を歩く ㊦



阿久比町と常滑市との境界

今回から阿久比町の境界線にぶらり旅に出掛けることにした。役場から常滑市との境を目指して、友人と二人で西へ向かって歩く。地図を片手に進むが、目印になるものがなく境界を探すのはなかなか難しい。看板に目をやると「常滑市」の表示があつたので歩く方向を左手に折れ、南に向かう。天候は晴れ。真っ青な空には飛行機が通った跡が白く十文字に残る。

# あぐいぶらり旅 境界線を行く①

田んぼの土手にタンポポが咲き、ミツバチが花の周りを飛ぶ。「ピチ、ピチ、ピチ」鳥がさえずる。「春ですよね」「ちよつと聞いてくれるか。きのう車に乗って信号待ちしていたら、フロントガラスに「ポタツ」とヨーグルトみたいなものが落ちてきて、びっくりしたんだよ。ガラスの仕業で、その量が半端じゃないんだ。くそ……」。「春本番を迎え、運が付いたじゃないですか」。「……」

舗装された道、砂利道、常滑市との境界だと思ふ道を進む。無心で歩く。人気はまったく見えない。途中坂道になり前方の景色が見えない。どこを歩いているか不安になる。頂上が近づくとつれて先が開けてくる。ようやく目の前に阿久比町、常滑市、半田市が入り組む「半田池」が見えてきた。一つ峠を越える。

常滑市との境界に別れを告げ、半田市との境界になる矢勝川沿いを歩く。川を隔てた雑木林でウグイスが鳴く。「ホー……ケキョ」鳴き方はぎこちないが確かにウグイスだ。しばらく耳を澄ます。ウグイスは鳴き声の練習を繰り返す。三回目の鳴き声が「ホー、ホケキョ」に変わる。思わず拍手をした。とつてもウグイスな気分だよ。でも「そうですわね、グツ、グツ、グツ、グツ」ですよ。春らしい絶好調な会話が流れる。知多半島サイクリングロードに合流する。サイクリングを楽しむ人たちがとすれ違う。自転車に乗る人たちは、気持ち良さそうに風を感じながら、私たちの横を通り過ぎていく。

二人とも疲れのピークを感じて会話がなくなる。高田橋まで来た。目が会ったので、軽くうなずき今日のぶらり旅を終えることにする。近くの植大駅から電車に乗り出発地点に戻った。



知多半島サイクリングロード合流点